

浜の川湧水

浜の川湧水は地元民の日々の生活に島原の火山の影響による恵みが採り入れられるようになった場所のひとつだ。

1792 年に、強い地震の後で眉山(819 メートル)の一部が崩壊した。山の一部が有明海に流れ込み、新しい丘がいくつかでき、また無数の湧水の源ができた。火山の割れ目を通ってろ過された雨水は、これらの新しい淡水の泉から澄んだおいしい水が湧くようになった。湧水はそれ以来大切にされ今も日常的に利用されている。

浜の川湧水 4 つの区画に分けられており、それぞれができるだけ水をきれいに保ち利用可能にするように特定の目的ごとに使われている。飲みたい場合は公共のコップを使って最初の水溜めに入る前に一口飲んでリフレッシュするとよい。それで満足できなければ、豊富な湧水を使って作られている島原の名産品、「かんざらし」という団子をお試しあれ。